

■地域の特性を踏まえた環境保全対策など

日本建設業連合会 安全委員会 海洋安全部会では、海洋工事現場の安全衛生、環境対策の推進のために全国の海洋工事現場から毎年数カ所を選び所属委員による点検を実施しています。

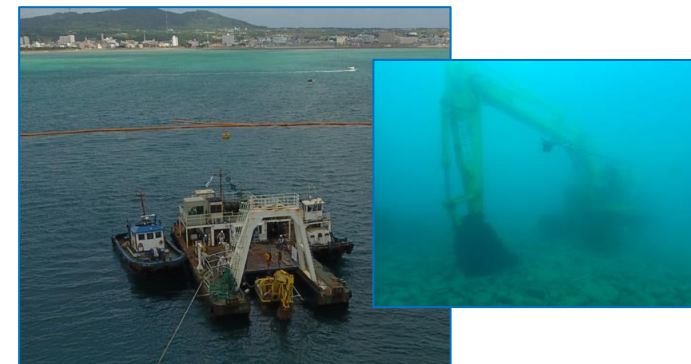
その際に、点検委員が確認した「良好な取組み」について取り纏めたものを紹介いたします。

■ 地域の特性を踏まえた環境保全対策など

■ 美しい海を求めて、多くの観光客が訪れる海域での工事であることから、捨石における海水の濁り対策をはじめ、地域社会の求める環境保全への期待に取り組んでいる。

- ◇ 一度、石山で水洗いを済ませた石材を、バージ上に設置した水槽内で再度水洗いして海域へ投入
- ◇ 施工海域全体をシルトプロテクターで囲い、捨石投入時にはさらにカーテンの付いた投入枠を使用
- ◇ 濁り監視として、濁度測定 + 目視による監視を重要視（一般人の視点への配慮）
- ◇ 電力駆動による水中バックホウで使用する作動油およびグリースは、生分解性のもの

■ 被覆石の均し作業に作業効率の良い水中バックホウを使うことで、潜水士の人数及び作業船隻数の低減も可能になり、潜水時間等の安全管理と近接施工の危険抑制が可能になる。





確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 **日本建設業連合会**

JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

安全委員会 海洋安全部会